

看護師発。暮らしと医療を繋ぐ病院広報誌

ご自由にお持ちください

西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL



7 月号
2024 No.18



中日新聞「リンクト」
LINKED
plus+
病院を
知ろう

SPECIAL REPORT

長く続く乳がんの
治療にずっと寄り添う

乳がん診療特集

CONTENTS

- 1 Cure 病気のおはなし
- 2 Cure 検査のおはなし
- 3 地域医療を支える新しい力
- 4 地域医療の豆知識
- 5 NEWS & TOPICS

Message

院長メッセージ

乳がんは定期的な検診を受けて、早期発見・早期治療することが何よりも大切です。ただし、近年は抗がん剤などの治療法が進化し、進行がんに対する治療効果も非常に上昇しています。今回の特集では、進行した乳がんの治療を事例として取り上げ、当院の包括的・継続的な治療体制を紹介しました。ぜひご一読ください。

SPECIAL REPORT

長く続く乳がんの 治療にずっと寄り添う

乳がん診療特集

乳がんの性質や進行度に応じて
包括的・継続的な診療を提供する。

CHAPTER 01 ステージ4の乳がん 患者さんの診断と治療。

数年前、「呼吸が苦しい」と訴えて西尾市民病院を受診した70代の女性がいた。検査したところ、肺に腫瘍があり、乳がんを原発巣として遠隔転移したがんであることがわかった。

呼吸器内科の医師からバトンを受け、乳腺外科の和田心樹医師が主治医となった。すでに転移しているため、手術は適応外となる。和田は必要な検査に基づいて有効な抗がん剤を選択し、副作用に配慮しつつ、乳がん転移した肺のがんをターゲットとした治療を開始した。幸い、抗がん剤が非常によく効き、がんの腫瘍は徐々に小さくなり、女性は以前の生活を取り戻すことができた。その後も定期的な診察、治療が続けたが、ある日「言葉がうまく出てこない」と女性は訴えた。脳への遠隔転移だった。まずは抗がん剤治療を行った後、1カ月ほど放射線治療を実施。症状が落ち着いて、女性は再び住み慣れた自宅で日常生活を送ることができた。こうして数年にわたり治療と検査が続けたが、最終的には残念ながら全身に転移したがん細胞を食い止めることはできなかった。それまでの経過をずっと見守ってきた和田は、こんなふうに振り返る。「最期の段階まで普段通りの生活を送っていただくことができ、何よりも良かったと思います。高齢の方ですと、抗がん剤の副作用で苦しみ、家でずっと寝ていることもあ

ります。それでは、いくら治療効果があっても意味がありません。私たちは常に生活の質を保ちつつ、最大限の効果を追求しています」。

乳がんには、進行度に応じてステージ0から4まである。この女性のように転移や再発の場合はステージ4で、薬物療法や放射線療法が中心になる。ステージ3までは手術を基本として、薬物療法や放射線治療を組み合わせていく。「乳がんの治療は手術が基本ですが、がんを切除すればそれで終わりではありません。がん細胞は体内の血液の中をぐるぐる回り、どこに巣をつくるかわかりません。ステージが高くなるほど再発リスクも上がるので、抗がん剤は有効です。近年はどんどん新薬ができていますから、高齢の方でも副作用に配慮しながら抗がん剤治療を進めています」と和田は話す。

COLUMN

●地域の乳がん患者を支える、西尾市民病院。今後は地域との連携を強め、地域で乳がん治療を推進していく方針である。

●「現在も、診療所の先生方から患者さんを紹介していただいています。将来的にはその連携を一步深めていきたい。当院での治療を終えた患者さんを診療所の先生に診ていただき、定期的な再発の検査は当院で行うような体制をつくり、地域全体で乳がん患者さんを支えていきたいと考えています」と和田は話す。



CHAPTER 02

乳がんの性質を見極め 最適な治療法を選択する。

マンモグラフィ（乳房X線検査）で乳がんが疑われる場合、さらに組織診断（針生検・病変部の組織を採取して顕微鏡で調べる）を行い、診断を確定するとともに乳がんの性質を調べる。その診断や治療法の選択において、和田が基本にしているのはどんなことだろうか。「乳がんにはいろいろな性質があるので、それぞれの性質に適した治療を行うことが第一になります。たとえば、急速に大きくなるがんとじわじわゆっくり成長するがん、女性ホルモンの影響を受けて増殖するタイプとそうでないタイプなどがあり、それぞれ治療法は異なります。また、がん細胞の表面にあるHER2（ハーサー）タンパクの量にも違いがあり、正常よりも多いタイプ（HER2陽性）では、手術前の抗がん剤治療でがんが完全に消失した場合には手術を省略するような臨床試験も行われており、将来的には手術を行わなくても可

能性も出てきました。そのほか、ある程度抗がん剤の効果が予測できるような遺伝子検査も開発されており、さまざまな角度から乳がんの性質を見極めるよう努めています」。

そうやって乳がんの性質がわかれば、性質に応じた効果的な治療が選択可能になってきている。和田は前述したように、手術、抗がん剤、放射線の三つを組み合わせた集学的治療を進めていく。「これらを組み合わせで提供できるのは、市民病院の総合力だと思っています。放射線治療では高い専門性をもつ医師と技師がいま、抗がん剤について専門の治療室があり、薬剤師や看護師との連携も緊密です。また、乳がんについて告知するときは、認定看護師が同席してフォローしますし、痛みのコントロールについては緩和ケアチームに相談できます。多様な専門職の力を結集して、乳がんの患者さんを支えられるのが当院の強みです」と和田は話す。乳がんの治療は、診断から10年ほどのフォローが必要となる。和田はその長い期間、不安な患者の心に寄り添い、がんとともに生きる生活を支えている。

BACKSTAGE

がんとともに生きる人を 支え続けることが大切。

●〈がんサバイバー〉という言葉聞いたことはあるだろうか。がんの診断、治療を克服して生きていく人を指す。がんサバイバーになれば、継続的な観察や検査が必要で、がんとともにずっと生きていくことになる。

●そんな人々に必要なのは、最初から最後まで患者に寄り添い、できる限り普段の生活が続けられるよう支えることである。西尾市民病院の乳腺外科はその重要性を何よりも自覚し、患者を支えている。



キュア Cure 病気の おはなし

先生、
教えて!

テーマ

乳がん

早期段階で治療を開始すれば、
ほぼ完治が望めます。
自覚症状がなくても検診受診を!

01 乳房の末端部分に 乳がんが発生

本誌特集と同じ乳がんのお話ですが、ここでは主に初期段階での診断、検査、治療についてお話をします。

乳房は、乳腺とそれを包む脂肪組織で構成されています。乳腺は放射状に広がり、乳管と小葉からなる乳腺葉に分かれています。乳管は木の枝のように分かれており、その末端部分である終末乳管-小葉単位に多くの乳がんが発生します。

がん細胞が小葉膜を越えていない段階では早期がんです。この段階で治療を開始すれば、ほぼ完治します。しかし、時間が経つとがん細胞は乳管の外に浸潤し、さらに進行するとリンパ管や血管内に侵入し、転移する可能性があります。

02 初期治療の目的は、 再発を少なくすること

乳がんにはさまざまなタイプがあり、それぞれに効果的な治療法が異なります。例えば、ホルモン治療、抗がん剤と抗体治療、抗がん剤(単独)などが挙げられます。診断には、エコー(超音波)検査や乳房X線検査(マンモグラフィ)、針生検(組織診断)、さらにはMRI検査、CT検査などを行い、がんの

広がりや転移を確認してステージ(病期)を決定します。

治療の初期段階では、再発を防ぐことを目的に手術や薬剤治療を行います。手術には、しこりの周辺のみを切除する乳腺部分切除と、全乳房を切除する乳腺切除術があります。また、センチネルリンパ節生検や腋窩リンパ節郭清も実施されます。術後には、抗がん剤治療や放射線治療を行い、経過を注意深く観察します。



Message

医師からのメッセージ



副院長 兼 医療安全管理部長
兼 薬剤部長
和田 応樹

女性には最も多いがん。若い世代も安心せず要注意!

乳がんは、女性が患うがんのなかで、最も多いがんであり身近な病気です。30歳代から増え始め、50歳代～60歳代が最多であり、他のがんと比べ、若い世代にも多いことが特徴です。乳腺の異常(しこり・乳頭分泌・皮膚症状など)を自覚した場合は、すぐに専門的に詳しい検査ができる病院を受診することが何より大切。検査の結果、良性の場合もあるので、恐れず受診をしてください。自覚症状がなくても、40歳を過ぎた人は、積極的に検診を受診することをお勧めします。なお、乳がんは、女性100人に対して男性1人の割合で、男性も罹患しています。そのため、女性と同じく、乳房を触り、しこりや乳頭からの分泌物がないか、セルフチェックをすることが大切です。

キュア Cure 検査 の おはなし

テーマ

乳がんドック

検査の
メリットは？

スタッフは全員が女性。
3Dマンモグラフィを導入し、
受診者の不安・負担を軽減



01 セルフチェックとプロの チェックで早期発見

乳がんは、近年では、セルフチェック（自己検診）の重要性が広まり、乳房の変化に自分で気付く方もいらっしゃいます。しかし、しこりの位置や大きさ、進行の度合いによっては、セルフチェックだけでは見つけにくい場合があります。また、女性の中には、病院で診てもらうのが恥ずかしい、検査が痛いなどの理由で、気になりながらも受診をためらう方も少なくありません。

乳がんで一番大切なことは、早期発見です。早期治療できたものは完治できるケースが多いため、当院では、乳がんの早期発見と早期治療の実現を目的に、令和元年（2019年）10月から「乳がんドック」を実施しています。

02 触っても解らない小さながん、 石灰化を精度高く発見

当院の乳がんドックのスタッフは、医師も診療放射線技師もすべてが女性です。女性の皆さんには、安心して受診していただけます。

検査内容は、しこりの確認をする医師の視触診、手では判別しづらいしこりを発見するエコー（超音波）検査（15分～20分）、乳房を挟み圧迫しながら、

触っても解らない小さながんや石灰化を見つける乳房X線診断（3Dマンモグラフィ検査：約10分）などがあります（※コースはメッセージをご覧ください）。なかでも3Dマンモグラフィ検査は、より精度の高い情報を迅速に得ることができ、患者さんの不安や負担を和らげる機能性を備えた機種です。

もし、乳がんドックで異常が見つかった場合は、迅速に当院乳腺外科に繋ぎ、早期の治療へと進めていきます。



Message

私たちが支援します



診療技術部 画像情報室
診療放射線技師
杉田 美香

1年に1回、乳がんドックを受診し、健康を守ってください。

当院の乳がんドックには、視触診・エコーまたは乳房X線診断（医師の診断により決定）のAコースと、視触診・エコー・乳房X線診断のBコースの2種類があります。乳管の中に石灰化ができている場合は、乳房X線診断で発見できます。触って腫瘍がある場合は、乳房X線診断ではなくエコーで判明するケースもあります。念のためにしっかり検査を受けたいという方は、Bコースをお選びになるようです。ご自身のためにも、40歳を過ぎたら1年に1回は乳がんの検査受診をお考えください。また、検診年齢に達していない若い方でも、家族歴や心配がある場合はエコーのみの検査が可能ですので、ぜひ乳がんドックをご利用いただきたいと思います。

地域医療を支える

新しい力

チカラ

対談企画

初期臨床研修医 X 看護師



患者さんや仲間から、信頼されるプロが目標！



研修医、看護師としてお二人は2年目ですが、この間、何か印象的なことはありましたか？

医師は医学部を卒業し医師免許を取得後、2年間の初期研修が義務付けられています。

宇山 僕は救急外来でも勤務するのですが、搬送された患者さんの中には「ありがとうございました」と、心からお礼を言うてくださる方がいらっしゃるんです。僕は医師として、当たり前のことをやっているだけですが、お礼や感謝の言葉はうれしい！ 医師になって良かったなあとしみじみ思い、印象に残っていますね。前田さんはどうですか？

前田 入院患者さんで、保存治療を続け退院も決まっていた矢先、急に状態が悪くなりお亡くなりになった方がいたのです。最期の立ち会いのとき、ご家族が「前田さんが良くてくれたというのを聞いてたよ」と、言ってくださったのがとても印象に残っています。

宇山 それは忘れられないことですね。

前田 はい。患者さん一人ひとりにきちんと向き合って、きちんと会話をする事の大切さを、改めて実感しました。



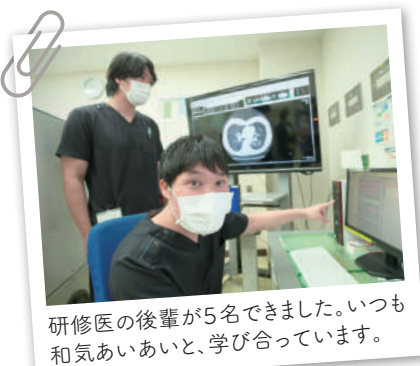
医師として、看護師として、将来はどんなプロになりたいと思っていますか？

前田 宇山先生は、どんな医師になりたいと思っていますか？

宇山 患者さんに頼ってもらえる医師ですね。しっかりコミュニケーションを取って、困ったら何でも話してもらえるようにする。そのためにも、患者さんには話しやすいよう丁寧にやさしく接することを心掛けています。そしてもう一つ。同じ医師からも、あの先生に診てもらえたら、あの先生だったら任せて大丈夫だと、そう思ってもらえる医師になりたいですね。

前田 私にも二つあるんですよ！ 一つは、患者さんには、普段のコミュニケーションからニーズを受け止め、それを実行できる看護師。もう一つは、日々の仕事は早くでき、年下の看護師からも、年上の看護師からも、頼ってもらえる看護師！ でも今は、やさしい先輩に何でも聞いて教えてもらっていますから、まだまだ先の理想像ですけどね。

宇山 やさしい先輩！ 私も同じです。何でもすぐに教えてください。見習いたい先輩ばかりです！



研修医の後輩が5名できました。いつも和気あいあいと、学び合っています。



2年目に入り少しずつ慣れ、自分一人で動けることが多くなりました。

初期臨床研修医(2年目)
宇山慎吾(うやま しんご)

兵庫県西宮市出身。父親が医師で、幼い頃からその後ろ姿を見て育ちました。

新人看護師(2年目)
前田なつみ(まえだ なつみ)

祖母が亡くなったとき、家族や私に寄り添ってくれた看護師の姿に魅かれました。

こんな言葉知っていますか？

地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ

地域連携

今回は
「地域連携」について
学びましょう



地域全体で医療を支える「地域連携」。 地域の生活者が、安心して、 継続的な医療を受けられるために

「地域連携」とは、ひと言でいうと地域全体で地域医療を支えようというもの。背景にあるのは、我が国の少子超高齢化社会の伸展です。我が国では令和7年(2025年)には、団塊の世代のすべてが後期高齢者(75歳以上)となり、医療・介護需要が最大となる一方、現役世代(15歳～64歳)の減少が進み、高齢者の医療・需要を支える人口も少なくなっていくと見込まれます。

こうした状況下、厚生労働省は、地域の病院(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)、診療所、在宅支援診療所、そして、施設などが、それぞれの機能・役割を専門化・分担し、円滑な連携を図ることで、地域の生活者が住み慣れた場所で、安心して継続的な医療・介護を受けられるよう整備してきました。



西尾市でも、より充実した地域連携を進めるため、医師会、病院部会をはじめ、薬局や訪問看護、ケアマネジャーなどの部会を設け、医療・介護・福祉との地域連携拡充に、大きな力を注いでいます。

西尾市民病院では

当院と地域の診療所、他病院、他施設、そして、在宅をシームレスに繋ぐ

西尾市民病院では、患者支援部の中に地域医療連携室を設置し、医療ソーシャルワーカーの私をはじめ、医療スタッフが中心となり業務を行っています。主な活動は、地域の診療所や他病院からの紹介患者さんに対する、外来や入院予約・検査予約に関連する連携業務で、当院の医療を必要とされている方を、スムーズに受け入れるための準備を整えるのが使命です。

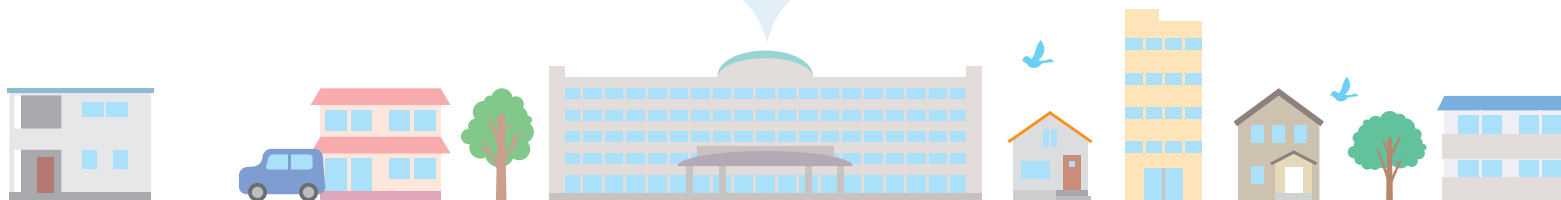
また、当院では、在宅療養をされている方で医療依存度の高い方などのレスパイト入院も受け入れているため、診療所以外にも、在宅に関わるさまざまな事業所からの相談受付、紹介などにも対応しています。

加えて、診療所を中心とした外部への情報発信にも力を入れています。例えば、新しく始まった治療や検査

の紹介、新任医師の得意領域の紹介など。当院の強みや特長を冊子にまとめ、当院への正しい理解と利用促進を図っています。

院内という視点でいうと、入院前から退院まで、各部署でシームレスに連携し、次のところへと円滑に繋がるよう努めています。そして、地域での連携面では、コロナが落ち着きを見せ始めた今は、医療・介護・福祉の方々と地域の課題解決に向けて、積極的な活動を行っています。

患者支援部 地域医療連携室
主任主査
各務雅基



令和6年4月1日開設

西尾市民病院訪問看護ステーション『ウェイル』をご利用ください



令和6年4月1日から西尾市民病院訪問看護ステーション『(愛称)ウェイル』を開設しました。医療や介護が必要な方でも、住み慣れた地域で自分らしく生活を続けられるよう、患者さんやご家族に寄り添い、必要なサポートを提供していきます。

ご利用いただける方

高齢者、病状や障がいの程度にかかわらず、当院を退院された方で、主治医が訪問看護を必要と認めたすべての方がご利用できます(精神疾患・小児は除く)。

◎ご利用に関するご相談は、かかりつけ医または当訪問看護ステーションまで

お問い合わせ

西尾市民病院 訪問看護ステーション
電話:0563-55-3192
E-mail:houkan@hospital.city.nishio.aichi.jp

訪問看護サービスの紹介

- 健康状態の観察(血脈、脈拍など測定)
- 日常生活の援助(食事や排せつ、入浴介助、清拭など)
- リハビリテーション(運動機能の改善など)
- 主治医との連携・調整(状態の変化を主治医に報告)
- 服薬管理(薬の説明・指導)
- 医療機器の管理・処置(床ずれ・チューブの取り扱い)
- 日常生活のアドバイス(療養環境の整備・薬の説明)
- 終末期のケア(苦痛の緩和の看護など)
- ご家族様などの支援(介護の方法等アドバイス)



地域医療デジタル掲示板 広告募集

企業の皆さま、医療機関・介護施設の皆さま

西尾市民病院、市役所設置の大型モニターで市民の皆さんに情報をお届けできます。

※掲載事項および内容には、審査がございます。



お問い合わせ・お申し込みはこちらから



合同会社プロジェクトリンク事務局
info@project-linked.com

看護師募集中!

お気軽にお問い合わせください。



安心して働けるサポートがあります。

お問い合わせ先

西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

病院広報WEBマガジン



こちらから



西尾市民病院からの最新TOPICSや検査・治療・ケアに関する情報などをお届けします。ぜひご覧ください。

LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「Ciao」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171 (代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>

発行責任者/院長 棚宜田 政隆
発行/西尾市民病院
記事提供/中日新聞広告局
編集協力/プロジェクトリンク事務局
発行日/2024年6月28日